

神戸市民の貯蓄生活について（第三報）

草 間 操

ま え が き

第2報において、内職と貯蓄生活につき、調査の結果を発表したように、内職による増収を貯蓄又は、投資に回わしている人は、わずかに15%にすぎず、大部分の人は、小遣の足しにしているのである。月々の収入や、内職により得た増収位では、まとまったお金を貯蓄や、投資につぎこむことは非常な努力が必要であり、又予算のどこかにむりが出来てくる。勤労生活者にとって、期待可能な臨時収入であるボーナスが、どのように使われているか、又昭和33年4月に減税貯蓄の制度が生れてから、はじめてのボーナスなので、貯蓄方面にも一段と工夫をこらす人も多いと考える。そこでこの第3報では貯蓄、投資とボーナスについて調査してみたのである。

I 調査の対象並びにその結果

1 調査の対象

- a 神戸市内にあるゴム会社、銀行、官公社、学校に就職している女子について。
- b 時期は昭和32年12月、昭和33年6月の2回のボーナスにつき。
- c 次に示すアンケートを求めた。（次頁の表参照）

A 調査票配布枚数及び解答数

2 調査の結果

B 年 令 層

第1表に現れたように23才24才25才からいづれも13%をこえ、20才21才22才が6%を上回っている。これは職業の種類にもよるが、高等学校卒業後は、結婚生活に入

職 業	配 布 数 (12月, 6月各々)	12月解答数	6月解答数
国家公務員	300枚	236枚	241枚
ゴム会社 従業員	200	110	127
銀行員	200	83	121
教 員	50	29	配布せず
解 答 数	750	458	489
%		60.1%	69.0%

ボーナスの使い方についての調査

この調査は家庭経済研究の一部にさせていただきます。
 無論、無記名であり、又税金には全然関係いたしません。
 目的は純粹に研究のためですから何卒御協力下さいませ。

甲南女子短期大学家政科教室 草 間 操

本人について	住 所	職 業	年 令	学 歴		
	東灘区, 灘 区 葺合区, 生田区 兵庫区, 長田区 須磨区, 垂水区 そ の 他	()	満 () 才	新 制 中 学 卒 新 制 高 校 卒 新 制 大 学 卒 旧 専 門 卒 その他 ()		
家 庭 状 況	夫	子 供	子供の人数	両 親 (現在同居)	兄 弟 (現在同居)	
	あ り な し	あ り な し	1. 2. 3. 4. 5. 以上	父 母	兄 人 姉 人 弟 人 妹 人	
手 取 ボ ー ナ ス 金 額			円			
使 途 に つ い て	被 服	項 目	金 額	項 目	金 額	
		上 着 類	約 円	貯 蓄	天 引 で す る 残 っ た ら す る	約 円
		下 着 類		貯 蓄 の 方 法	銀 行 預 金 郵 便 貯 金 株 を 買 う 保 険 そ の 他	
		附 属 品 装 飾 品 履 物 類 そ の 他				
	食 物	外 で 食 べ る 家 庭 へ 買 っ て 帰 へ る		贈 答	家 族 に 友 人 に そ の 他	
		住 居		家 具 類 家 庭 用 品 そ の 他	教 養 文 化 に	
	娛 楽		旅 行 等 観 劇 等 そ の 他		保 険, 衛 生, 美 容 に	
					借 金 を 返 す	
		そ の 他				
		家 計 簿 又 は 小 遣 帳	つ け て い る つ け て い な い			

神戸市民の貯蓄生活について（第三報）

るまで就職しようとする女子が多いことを示すものである。

C 学 歴

第2表に示す如く、職業の種類により違ってくるので、この調査の場合は新

第一表 年 令 層

年 令	国家公務員		Bゴム会社		K 銀 行		学校教員	計	%
	(冬)	(夏)	(冬)	(夏)	(冬)	(夏)	(冬)		
16才	0名	0名	1名	0名	3名	0名	0名	4名	0.04
17	0	0	6	3	1	1	0	11	1.1
18	0	0	11	9	4	14	0	38	4.0
19	0	0	12	15	8	17	0	52	5.4
20	0	0	19	19	9	14	1	62	6.3
21	5		22	19	6	8	2	63	6.4
22	15	4	15	21	3	6	0	64	6.5
23	50	49	5	9	5	5	1	124	13.1
24	43	37	5	5	11	14	1	126	13.3
25	48	45	3	4	11	10	3	124	13.1
26	21	39	5	3	5	7	2	82	8.6
27	13	17	3	5	5	8	0	51	5.3
28	9	5	1	3	4	4	4	30	3.1
29	7	9	0	2	3	4	0	25	2.7
30 代	10	21	1	10	4	8	12	56	5.9
40 代	9	9	1	0	1	1	2	23	2.4
50 代	6	6	0	0	0	0	1	13	1.3
計	236	241	110	127	83	121	29	947	

第二表 学 歴

学 歴	国家公務員	Bゴム会社	K 銀 行	学 校 教 員	計
新 制 中 学	267名	183名	25名	0名	475名
新 制 高 校	78	22	130	0	230
旧高等女学校	84	8	34	2	128
旧女子商業	5	0	2	0	7
高等小学校	37	19	4	0	60
短 大	3	1	1	6	11
新 制 大 学	1	0	0	11	12
旧専門学校	1	0	1	10	12
そ の 他	1	4	7	0	12
計	477	237	204	29	947

制中学卒，高校卒が最も多くなっている。

D 家庭状況

未婚の女子が圧倒的に多い。結婚している人はわずか26%である。子供については子供のいない人が多く，あっても1人位で，2人以上になると外に出て働く人は少なくなってくる。（第3表参照）

第三表 家 庭 状 況

	国家公務員	Bゴム会社	K 銀 行	学校教員	計	%
夫 あ り	187名	17名	27名	17名	248名	26.1
夫 な し	17	0	1	0	18	1.9
未 婚	273	220	176	12	681	71.9
					947	
子 供 な し	94	12	19	4	129	
子供 1人	78	5	7	0	90	
〃 2人	24	0	2	0	26	
〃 3人	2	0	0	0	2	
〃 4人	4	0	0	0	4	
〃 5人	2	0	0	0	2	

第四表 調査対象全体の手取金額別表

手取ボーナス金額	人 数	手取ボーナス金額	人 数
4,000円以下	2	14,000円	13
4,000～4,500円	11	15,000円	23
5,000～5,500円	48	16,000円	13
6,000～6,500円	49	17,000円	11
7,000円	68	18,000円	36
7,500円	86	19,000円	40
8,000円	86	20,000円	53
8,500円	44	21,000～24,000円	70
9,000円	58	25,000～29,000円	41
9,500円	36	30,000～39,000円	25
10,000円	52	40,000～49,000円	8
10,500円	10	54,000円	2
11,000円	23	未 記 入	5
12,000円	22		
13,000円	12	合 計	947

E ボーナス手取金額について

これは、職域別に金額を発表することは、調査の目的からいって必要でないと考えたので、調査対象全体につき、金額別に人数を出してみた。

F 貯蓄について

ボーナスの一部を貯蓄するか、しないかについてであるが、表に示すように天引でも、残ったらするにしても、貯蓄する人の方が多いのは、文化生活への第一歩としての「目的貯金」の必要が高まってきたせいかもしれない。尙天引でしている人が多いのがめだっている。夏と冬のボーナスについても大差なく、以上のことが云える。

第五表 ボーナスの一部を貯蓄する、しない

貯蓄をするか、しないか	国家公務員		Bゴム会社		K 銀行		学校教員	
	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏
天引でする	39.0	31.6	21.0	31.5	50.6	49.6	48.3	調査せず
残ったらする	21.6	22.0	17.2	7.9	31.3	23.9	41.4	
貯蓄をしない	39.4	46.4	61.8	60.6	18.1	29.5	10.3	

G 貯蓄方法

貯蓄の方法は、預貯金が殆どで、株を買ったりする人はほんのわずかである。之は対象が女子にのみついてであったことにもよると思う。職業別にみて、やはり銀行員は銀行預金が多く、公務員は郵便貯金を利用しているのは面白い。（第6表参照）

第六表 貯蓄の方法

貯蓄の方法	国家公務員		Bゴム会社		K 銀行		学校教員	
	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏
銀行預金	12.0	9.8	30.3	16.0	89.6	91.1	55.6	調査せず
郵便貯金	58.2	43.3	30.3	36.0	1.5	0.6	14.8	
株を買う	0.7	0.7	2.2	2.0	1.5	0	3.7	
保険	3.9	2.2	4.4	0	1.5	0	7.4	
その他	9.9	20.9	13.3	18.0	0	0.6	7.4	
未記入	15.3	23.1	19.5	28.0	5.9	7.7	11.1	

第七表 手取金額に対する貯蓄%及び年令別表(冬の部)

項目 年令 %	銀行預金					郵便貯金					株を買う					保 険					そ の 他					未 記 入					合計				
	10	20	25	30	40	50	10	20	25	30	40	50	10	20	25	30	40	50	10	20	25	30	40	50	10	20	25	30	40	50					
1～5		1	1				2	6					1						1							1	1	6			33				
5～10	2	5	3	1	1			7					1													1	4	2			47				
10～15	1	3	6					9	6	1	2																1	3			40				
15～20		4	6	2				4	7																			2	4		31				
20～25	2	4	3	1		1	1	6	6	1																	2				29				
25～30	2	4	5	1			1	5	1	1																	1	1			24				
30～35	1	6	4	1				1	1	2																					17				
35～40		3						1	1	1																					6				
40～45	2	4	1	1				1	3	1																1					17				
45～50	1	1	1					5	2																		1				12				
50～55	1	1	1	1				2		1																	2				11				
55～60		3	3	1						1																						8			
60～65							1																									1			
65～70			3																													3			
70～75			1	1						1																						3			
75～80																																1			
80～85		1																									1					2			
85～90			1																													2			
90～95	1		1																													2			
95～100	1	5	1							2																						9			
合 計	14	43	40	11	1	0	5	45	41	9	5	1	0	2	1	1	0	0	2	14	1	0	1	0	11	9	2	1	0	3	16	17	1	0	298

第八表 手取金額に対する貯蓄%及び年令別表（夏の部）

項目 年令 %	銀行預金					郵便貯金					株を買う					保 険					そ の 他					未 記 入					合計		
	10 20 25 30 40 50					10 20 25 30 40 50					10 20 25 30 40 50					10 20 25 30 40 50					10 20 25 30 40 50					10 20 25 30 40 50							
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1～5																															7		
5～10			1	1																											25		
10～15		1	2	3																											48		
15～20		4	6	1																											25		
20～25		4	3	3	2																										25		
25～30		5	1																												22		
30～35		5	1																												10		
35～40		1	3																												11		
40～45		3	1																												13		
45～50		4	1																												11		
50～55		1	5																												15		
55～60		3	4																												14		
60～65		2	2	4																											13		
65～70		1	1																												3		
70～75		1	1	1																											4		
75～80		1	2																												4		
80～85																															2		
85～90																															1		
90～95		2																													3		
95～100		6	4	3	2																										19		
合 計	26	39	30	7	0	1	4	30	31	6	3	3	0	1	0	0	1	1	1	0	0	2	21	10	6	0	0	6	17	20	6	1	275

H 手取金額に対する貯蓄%

第7, 8表は12月, 6月にわけて, 手取金額に対する貯蓄の割合と年齢別を示してみたが, 銀行預金でも, 郵便貯金でも20才~25才の人が割合に多く預貯金をし, そしてその%は5~10%を貯蓄している。貯蓄する金額の割合が10~15%, 1~5% 15~20%の順になっている。これは12月と6月を比較してもまり差はみられなかった。

銀行筋では月収の2割, ボーナスの5割貯蓄が理想だそうだが, その通り行かなくてもボーナスを貯蓄する人が多くなったことは, 将来の経済準備の必要と, 現在の予算生活を実行している人が多くなったとみても差支えないと思う。まえがきに書いたように減税貯蓄が出来たのだから, これを活用するのが賢いと考える。これは1年に貯蓄総額の3%を税金から引かれるもので, 減税額は6千円で, 貯蓄額20万円になる。ただし, 一度だけの預貯金ではなくて, 6ヶ月は続け, 2年据置であるから, ボーナスを機会にして, その2割~4割位を預け, 後はもっと少額を5ヶ月間続けて, 月収から何割かを貯蓄にまわせばよいわけである。貯蓄の方法としては, なるべく定期預金にして, 利回りのよいものをえらび, リレー式の定期でつづけて行くと, 自然に2年据置になり, 利率の上に減税分も加算されることになる。又割引債券や, 投資信託, 株式投資などもある。投資信託は1口, 5千円, 割引債券は9,377円でボーナスの中で, 投資に回せる分が2~3万円までの人でも買えるわけである。

次にどんな風に貯蓄投資の割合をすればよいか, 野田経済研究所大阪支社長の前石達夫氏, 貯金すべき金額を4つにわけて模範を示されている。

- ① 5,000円 { 3,000円……引出し自由の郵便貯金
2,000円……割増金付半年定期又は銀行6ヶ月定期
- ② 10,000円 { 5,000円……引出し自由の郵便貯金
5,000円……割増金付半年定期又は銀行6ヶ月定期
- ③ 20,000~30,000円 { 10,000円~15,000円……自由郵貯
5,000円~10,000円……割増金付半年定期

又は銀行1年定期, 金銭信託1年

- ④ 50,000円 { 20,000円……自由郵貯
20,000円……割増金付半年定期, 割引債券1ケ年
10,000円……投資信託

次に投資利回り一覧表をそえておく。

投資利廻り一覧表

◇引出し自由の預貯金（年利）

郵便貯金	3分9厘6毛
銀行預金	2分5厘5毛

◇定期預金

• 銀行定期	3ヶ月もの	4分3厘
	6ヶ月もの	5分5厘
	1年もの	6分

• 割増金（10万円～50万円）

付き半年定期 3分6厘～4分（割増金がはずれても）

• 郵便定期	6ヶ月～1年	5分
	1年～2年	5分5厘
	2年以上	6分

◇金銭信託（1口5千円）

	1年もの	6分
	2年もの	6分8厘
	5年もの	7分5厘

◇貸付信託（1口1万円）

	2年もの	7分
	5年もの	7分8厘

◇割引債券（償還1ケ年）

6分6厘4毛余（昭和34年1月調べ）

I 家計簿又は小遣帳記入状態

第9表の如く家計簿又は小遣帳を記入している人と、していない人と殆ど同数である。簿記の記入は、毎日毎日行はなければならないので、この担当責任者は不断的努力が必要になってくる。殊に職業を持っている女子が、この任にあたる場合は、よほど強い意志の持主か、必要にせまられている場合の外は、おこたりがちになる。しかしこの記入の結果が、一つの家庭日記の役割を果し、その収支の状態によって、過去の家庭内におこった事柄を思い出し、又一方には社会の動きを知ることが出来て、この継続は益々興味を深くして行くものと考ええる。優秀家計簿を作るのが目的でないのだから、各人が最も便利な方法を考え出し、永続きするようなものでありたい。単なる記録にとどまらず、将来の生活設計のよい参考資料となるものでなければならないと思う。

第九表 家計簿又は小遣帳記入の有無

年令		国家公務員	Bゴム会社	K銀行	学校教員	計	合計
記入している	10	0	14	22	0	36	368名
	20	77	36	43	5	161	
	25	95	12	22	6	135	
	30	12	3	5	8	28	
	40	3	0	1	0	4	
	50	4	0	0	0	4	
記入していない	10	0	29	13	0	42	362名
	20	70	55	30	0	155	
	25	80	8	25	3	116	
	30	17	5	4	2	28	
	40	10	1	0	2	13	
	50	8	0	0	0	8	
アンケートに未記入	10	0	14	10	0	24	217名
	20	56	48	11	0	115	
	25	38	9	14	0	61	
	30	2	3	3	2	10	
	40	5	0	1	0	6	
	50	0	0	0	1	1	
							947名

II 要 約

1. 調査対象になった年齢層は20才～25才の女性が最も多かったこと。最年少者は16才で最年長者は50才の婦人まで相当広い範囲にわたっている。
2. 学歴は新制中学卒業者が多く、つづいて高等学校卒業者で、旧高等女学校卒も比較的多かった。新制大学の卒業者は学校教員に最も多いのは当然のことと思う。
3. 配偶者については、未婚の女性が圧倒的で、結婚はしていても子供のいない人が多かった。中には5人も子供があっても、尙職についている人があるが、子供がもう成長して割合に手がかからないために、かえって勤めやすい場合も考えられる。
4. 手取金額については、くわしい統計を発表しなかったが、この調査の目的が、ボーナスの金額を知るためのものでないので、簡単にどれ位、もらっている人が多いかの程度にとどめておいた。
5. ボーナスの一部を貯蓄にまわす人の方が多いこともわかったが、ゴム会社

の場合は、貯蓄しない人の方が多い。その理由は、はっきりしないが、年齢層から考えて比較的若い人が多いので、将来の経済生活への準備よりも、現在必要なものの方が多分に魅力的であるのではなからうか。

6. 方法としては預貯金が殆どで、投資信託や、株式投資にまわす人はないといってもよい位である。これは手取金額が少ないことも原因しているが、その方面の知識に乏しく、経験もないので危険を伴う場合があるので、安全策の預貯金にしたのであろう。
7. 手取金額の何%位を貯蓄にあてているかといえは5～10%が最も多かった。極少数ではあるが95～100%している人もある。その年齢は20才代である。
8. 家計簿又は小遣帳記入状態は記入している人と、していない人と同数といってもよい位にその差は少ない。これは家計簿記入の必要と、家計簿記入の楽しさ、むしろ家計簿の本当の使い方を知らない人が多いのだと思う。記録された事柄、数字から多くの物語りをくみとり、更に将来へのびるこれからの生活の羅針盤であることに、気がつかないのであろうか。簡単なものでよいから、楽しみながら書きつづけられる家計簿を思い思いの、その人らしいものを作り出してほしいのである。

あ と が き

神戸市内における、ごく一部の職域のしかも女子にかぎったこの調査から、こうあるべきだという結論を出すことは不可能にも等しい。そもそも限られたワク内での家計のバランスをとることは、非常に困難なことであるが、といって、ゆきあたりばったりのものでも困る。給料生活者にとって、日頃の夢を現実のものにする一つの機会としてのボーナスは、最も期待されるものであり、又そうあってもよいものであるが、しかし、うれしさのあまり無計画になり、何に使ったか思い出せないままに、消え去ってしまうのも、無智な使い方と云わざるを得ない。家庭の或は個人の個性を生かし、破たんのない範囲内で、数多い望みの一つ一つを着実にかなえて行けるような、長期画計も一つの方法と考える。なおこの調査で、貯蓄以外の他の使途についても書いていただいたのに、今回はその統計まで出すことが出来なかったのも、御協力いただいた方々には、まことに申し訳ないのでありますが、次の第4報で、その報告をさせていただきます。最後に、御協力下さいました皆様に厚くお礼を申し上げます。